

シラバス【教育計画】

2019 年度



アカデミー看護専門学校 助産師科

6 期生

助産師科教育計画								履修年次 (時間)			
内容	科目	授業方法			教員			評価	前期	後期	単位
		講義	演習	習実 ・験・ 実・技 実	専任	兼任	実務 経験				
基礎助産学	助産学概論	○			○		○	100	15	0	1
	ウィメンズヘルス論	○				○	○	70	15	0	1
						○	○	30			
	家族関係論	○				○		100	15	0	1
	周産期医学Ⅰ	○				○	○	50	16	0	2
						○	○		12		
						○	○	30	6		
						○	○	/	4		
					○		○	20	2		
					○		○		4		
○		○	2								
周産期医学Ⅱ	○				○	○	100	24	0	1	
				○		○	/	0	6		
助産学研究・演習		○			○	○	/	20	10	1	
助産診断・技術学	妊娠期の助産診断・技術学	○			○		○	100	24	0	1
					○		○	/	2		
						○	○	/	4		
	分娩期の助産診断・技術学	○			○		○	100	30	0	1
	助産診断・技術学演習		○		○		○	30	10	14	2
					○		○	40	22		
					○		○	30	14		
	新生児・乳幼児の助産・診断技術学演習		○			○	○	70	14	2	1
					○	○	12				
					○	○	/				
					○	○	/	4			
○						○	30		13		

教育計画								履修年次				
内容	科目	授業方法			教員			評価	前期	後期	単位	
		講義	演習	習実・験・実・技実	専任	兼任	実務経験					
助産診断・技術学	産褥期の助産診断・技術学	○			○		○	100	15	0	1	
	母子保健教育学・演習		○				○	100	30	0	1	
	助産診断過程演習		○		○		○	40	16	0	1	
				○		○	30	16	0			
				○		○	30	14	0			
地域母子保健	地域母子保健・国際母子保健	○				○	○	80	0	20	1	
						○	○	/		4		
						○	○	10		4		
					○		○	10		2		
助産管理	助産管理	○			○		○	80	0	18	2	
						○	○	/		4		
						○	○	20		4		
						○	○	/		4		
講義別	エンゼルハンズ講習					○		/	4	10	/	
助産学実習	技術産学診断実習・	基礎実習						100	90	0	2	
		前期実習			○	○	○	○	100	180	0	4
		後期実習							100	0	180	4
	地域母子保健実習			○	○	○	○	100	0	45	1	
単位数								合計	636	340	29	

科目名:助産学概論	講義	担当:(助産師歴7年)	1単位
			15時間

一般目標

- ・助産師の役割、責務を通して、助産師としての使命を認識する。
- ・助産師としてのアイデンティティの確立。
- ・助産師としてかかわる生命倫理、職業倫理について理解を深め、高い倫理観を養う。
- ・自己の助産観を見出すことができる。

回	担当	項目	行動目標
1	高取教員	助産の概念	助産の定義、対象について説明できる
2	〃	助産の歴史	助産の変遷と助産師教育について関連づける
3	〃	助産師の業務・役割	医療法から見た助産師について述べる
4	〃	助産師と関連法規	助産師の裁量権に伴う法的根拠について説明できる
5	〃	助産学を構成する理論	助産学に関連する理論を学び、対象の心理・社会的側面について討議する
6	〃	助産の対象を理解する理論	周産期の危機をもたらす事象、喪失体験について推論する
7-8	〃	助産師と倫理	生命倫理、医療倫理の意義について考察する

使用テキスト 助産学講座1(医学書院) 臨床助産師必携(医学書院)

参考図書

新版助産師業務要覧Ⅰ、新版助産師業務要覧Ⅱ(日本看護協会出版会)
看護法令要覧平成28年度(日本看護協会出版会)、助産師業務ガイドライン2014

評価基準 ; 筆記試験100%

科目名:ウイメンズヘルス論	講義	担当:M(大学講師として3年) H(大学教授として10年)	1単位
			15時間

一般目標

- ・性と生殖に関する基礎的な知識を修得する。
- ・女性のライフサイクル各期における身体的、心理的、社会的特徴を知り、ウイメンズヘルスケアについて理解を深める。

回	担当	項目	行動目標
1	松本先生	女性の健康と人権	性科学とセクシュアリティ リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて述べる
2	〃	女性のフィジカルアセスメント	女性各期の心理・社会的特徴について述べる
3	〃	女性のライフステージの特徴と支援(1)	性と生殖に関するヘルスケアを学び、月経障害に悩む女性、不妊に悩む女性への支援について述べる
4	〃	女性のライフステージの特徴と支援(2)	障害のある子どもを育てている家族へのケアについて考察する
5-6	〃	家族への支援まとめ	家族と子育て支援について述べる
7-8	平田先生	女性への支援	虐待 ドメスティックバイオレンスに悩む女性への支援について考察する

使用テキスト 助産学講座4 助産学講座5(医学書院)

参考図書

助産師基礎教育テキスト2(日本看護協会出版会)

臨床助産師必携(医学書院) 助産師業務要覧 I(日本看護協会出版会)

評価基準 : 筆記試験100%

科目名:家族関係論	講義	担当:S (大学講師として18年)	1単位
			15時間

一般目標

- ・「家族」をめぐって、心理・文化・社会的側面から理解を深める。そのさい、社会学の「ものの見方」によりながら、「家族」について考えるための視野を広げることを目標とする。
- ・「家族」をめぐって柔軟に考えるための「ものの見方」を身につける。

回	担当	項目	
1	S先生	講義への導入 「家族」を語ることの たやすさと困難さ	(講義の位置づけや目標をふまえて)「家族」が なぜ考えるテーマになるかを説明できる
2	〃	人類史の中の家族①	人間という生物の特徴とそれが「家族」を営むよ うになった背景を説明できる
3	〃	人類史の中の家族②	人間という生物の特徴とそれが「家族」を営むよ うになった背景を説明できる
4	〃	機能から考える家族①	「社会化」という観点から家族の働き(機能)に ついて説明できる
5	〃	機能から考える家族②	「社会化」という観点から家族の働き(機能)とそ の変容について説明できる
6	〃	変容する家族と社会① 揺らぎ の中の家族	現代社会における家族の揺らぎとそれがもたら す現実について述べる事ができる
7	〃	変容する家族と社会② 家族機 能の外部化/個人化する家族	現代社会における家族の揺らぎとそれがもたら す現実について具体的に説明できる
8	〃	社会する家族と社会③ 多様化 する家族をめぐって	現代社会における家族の揺らぎとそれがもたら す現実を、その社会背景をふまえて説明できる

使用テキスト テキストは使用しません(配布資料とパワーポイントで講義を進めます)

参考図書

講義の中で、「家族」をめぐって考えるためのヒントになる素材を紹介していけたらと思います。

評価基準 筆記試験 100%

科目名:周産期医学 I	講義	担当:H(産科医歴35年)K(産科医歴32年)HT(産科医歴38年)MK(助産師歴25年) H(助産師20年) I(助産師歴25年) T(助産師歴8年)	2単位
			45時間

一般目標

- ・妊娠、分娩、産褥期の生理と病態を理解する。
- ・妊娠、分娩、産褥期の異常及びハイリスク妊産褥婦の治療と看護を理解する。
- ・不妊症及び不妊治療に関する基礎的知識を修得する。
- ・不妊相談に関するケアの対象について学び、助産師としての支援の方法を理解する。

回	担当	項目	行動目標
1	H	妊娠の成立と維持 妊娠による母体の変化	妊娠の成立の機序 胎児の発育 胎児・胎盤系の生理 全身の変化 性器および局所の変化について述べる
2	I	産科的解剖	産道 性分化 骨産道 胎児について述べる
3	〃	分娩の生理	分娩の3要素について述べる
4	K先生	妊婦検査法(1)	胎児胎盤機能検査 パルスドップラー法 臍帯動脈・中大脳動脈R I検査 BPについて比較す
5	〃	妊婦検査法(2)	超音波検査法(演習含)が実施できる
6	〃	妊娠期の異常と治療	妊娠悪阻 流産 異所性妊娠 多胎妊娠について述べる
7	〃	妊娠期の異常と治療	母体年齢と胎児 頸管無力症 早産 羊水量の異常について述べる
8	〃	ハイリスク妊娠(1)	糖尿病 心疾患 呼吸器疾患 腎疾患について説明できる
9	〃	ハイリスク妊娠(2)	甲状腺疾患 血液疾患 膠原病 てんかん合併 精神疾患について述べる
10	H先生	妊娠期の異常と治療	妊娠高血圧症候群(子癇を含む) 常位胎盤早期剥離 前置胎盤について説明できる
11	〃	その他の検査	羊水染色体検査 均衡型転座 ロバートソン転座 絨毛採取 クアトロテスト NIPT 超音波検査について述べる
12	〃	分娩に関する定義	分娩誘発 分娩促進 無痛分娩について説明できる
13	〃	分娩期の診断	胎児心拍数陣痛図について説明できる
14-15	〃	不妊症	排卵障害 卵管因子 子宮因子 頸管因子 男性因子 生殖補助医療 着床前診断について述べる
16	T	産褥の生理 産褥期の異常	子宮復古 乳汁分泌、産褥の管理 マタニティブルー 産後うつ病 産褥精神病 産褥期感染症 合併症妊娠の産褥管理について述べる
17		母子感染症	風疹 性感染症 HTLV-1 水痘 等について述べる

回	担当	項目	行動目標
18	H先生	産科手術	帝王切開術 吸引分娩 分娩誘導法 等について述べる
19	HT 先生	分娩期の異常	児頭骨盤不均衡 遷延分娩 胎児機能不全について述べる
20	HT 先生	分娩期の異常	分娩期異常出血(産道損傷 弛緩出血 子宮内反症)について述べる
21	HT 先生	分娩期の異常	産科危機的出血について述べる
22-23	MK先生	不妊相談	不妊治療を受ける患者・家族への支援について推論する
使用テキスト 助産学講座4 (医学書院) 最新産科学正常編 (文光堂) 最新産科学異常編 (文光堂)			
参考図書 助産学講座6, 助産学講座7(医学書院)			
評価基準 ; 筆記試験100%			

科目名:周産期医学Ⅱ	講義	担当:HS(医師として50年) T(助産師歴7年)	1単位
			30時間

一般目標

- ・新生児、乳幼児の生理と病態について理解する。
- ・ハイリスク新生児の管理について学ぶ。
- ・新生児蘇生法について知識と援助技術を正しく理解する。

回	担当	項目	行動目標
1	HS先生	胎児から新生児への適応生理	出生の生理と呼吸・循環の適応について述べる
2	〃	出生直後からの母子支援	バースカンガルーケアと母乳育児からタッチケアについて述べる
3	〃	新生児の生理	新生児とは？ 身体諸臓器の適応生理について述べる
4	〃	神経・発達の評価	成長・発達と乳児健診 育児支援について述べる
5	〃	ハイリスク新生児	定義と分類 管理システムについて述べる。又、その歴史について関連づける
6	〃	新生児の異常(1)	先天異常と3つの顔について説明する
7	〃	新生児の異常(2)	呼吸・循環について述べる
8	〃	新生児の異常(3)	黄疸 低血糖について述べる
9	〃	新生児の異常(4)	外科的疾患(消化器、脳)について述べる
10	〃	新生児の異常(5)	感染 血液 代謝 内分泌系について述べる
11	〃	新生児の異常(6)	症候群と小奇形について述べる
12	〃	新生児・乳児の救急、事故	SIDS 事故 虐待について述べる
13-15	高取教員	新生児救急蘇生法講習	新生児蘇生法の意義について述べ、正しい蘇生法が実施できる

使用テキスト

助産学講座8(医学書院) 新生児蘇生法テキスト(MEDICALVIEW)

参考図書

新生児疾患カラーアトラス(MCメディカ出版)新生児学入門 第3版(医学書院)

評価基準 : 筆記試験100%

科目名:助産学研究・演習	演習	担当: M(大学講師として3年)	1単位
			30時間

一般目標

- 研究の基礎的プロセスを理解できる。
- 助産実践の改善・助産学の発展と研究のつながりを理解できる。
- 研究においてどのような倫理的行動が必要かを理解する。
- 実習体験を通して、対象に沿ったケアの内容を分析し論文としてまとめ、自己を振り返る。

回	担当	項目	行動目標
1	M先生	助産学研究の目的と意義	研究の目的を踏まえ、研究の意義について概要を説明できる
2	〃	助産学研究を進める手順 研究デザイン	研究の方法が説明できる
3	〃	研究における倫理	倫理原則 5つの権利 人権擁護について述べる
4	〃	文献検索意義と方法	文献検索の重要性・方法・読み方・文献レビューについて述べる
5-6	〃	研究論文の批評(クリティーク)	クリティークの定義・目的、必要な能力 クリティーク基準、GW文献の抽出について述べる
7-8	〃	量的研究論文のクリティーク 質的研究論文のクリティーク	原著論文を読みGW発表・討議を実施する
9-10	〃	実験・準研究研究論文のクリティーク 研究計画書	原著論文を読みGW発表・討議を実施する
11-12	〃	ケーススタディ	ケーススタディ計画書及び、論文作成を実施する
13-15		母性衛生学会参加	助産学発展の基盤となる過程を創造することができる

使用テキスト ナーシンググラフィカ 基礎看護学④看護研究 (メディカ出版)

参考図書 別巻 看護研究(医学書院)

評価基準 ; ケーススタディまとめ80% 発表20%

科目名:妊娠期の助産診断・技術学	講義	担当:H(助産師歴20年)N(鍼灸師歴20年) T(助産師歴7年)	1単位
			30時間

一般目標

- ・妊娠期の助産過程を展開する基礎的な知識を修得する。
- ・妊婦、ハイリスク妊婦のアセスメントとケアを学び、対象を支援する援助技術を習得する。
- ・妊娠期に必要な検査法について基礎知識を修得する。

回	担当	項目	行動目標
1	東尾教員	妊娠の生理	妊娠の成立と維持について述べる
2-3	〃	妊娠期の母体の変化、心理・社会的変化	妊娠各期の特徴について関係づける
4	〃	妊娠期の母体の変化、心理・社会的変化	妊娠各期の特徴についてまとめ発表する
5	〃	妊娠期のフィジカルアセスメント(1)	妊婦の健康診査 腹部視診・触診・聴診の適切なフィジカルアセスメントが実践できる
6	〃	妊娠期のフィジカルアセスメント(2)	胎児の発育・健康状態のフィジカルアセスメントが実践できる
7	〃	妊婦への支援(1)	日常生活適応のケアについて述べる
8-9	〃	妊婦への支援(2)	妊娠期のマイナートラブル、保健指導について説明できる
10	〃	妊婦への支援(3)	親になる準備へのケアについて説明できる
11	東尾教員	ハイリスク妊婦へのアプローチ	身体的ハイリスク因子、心理・社会的ハイリスク因子のアセスメントが実施できる
12	〃	ハイリスク妊婦へのアプローチ	事例検討によりハイリスク妊婦の助産ケアを考察する
13	高取教員	妊娠期の運動(マタニティ・ヨガ)	妊娠期の運動の方法、留意点を述べ、実践できる
14	中村先生	補完代替医療	産科領域の鍼灸療法について述べる
15	〃	補完代替医療	マイナートラブルに対応した鍼灸の効果について述べる

使用テキスト

助産学講座2(医学書院) 助産学講座3(医学書院) 助産学講座6(医学書院)

参考図書

産婦人科診療ガイドライン産科編2017(日本産婦人科学会/日本産婦人科医会)
写真でわかる助産技術アドバンス(インターメディカ) 周産期超音波のみかた(メディカ出版)

評価基準 ; 筆記試験100%

科目名:分娩期の助産診断・技術学	講義	担当:I(助産師歴25年)	1単位
			30時間

一般目標

- ・分娩時の助産過程を展開する基礎的な知識を修得する。
- ・正常分娩経過の診断及び異常の早期発見について理解し、正常を逸脱しない為の助産ケアの方法を理解する。

回	担当	項目	行動目標
1	池田教員	分娩の3要素	骨盤計測が実施できる
2	〃	分娩介助法の原理	分娩機転について述べる
3	〃	分娩期のフィジカルアセスメント	産婦の健康診査 分娩の前兆 分娩開始の診断 破水の診断 分娩進行度について述べる
4	〃	分娩期のフィジカルアセスメント	胎児・胎児付属物のアセスメントについて述べる
5	〃	入院時の助産診断とケア	入院時のアセスメント、助産診断の特徴を述べる
6	〃	分娩第1期の助産診断ケア	分娩第1期のアセスメントを記述することができる
7	〃	分娩第1期の助産診断ケア	分娩第1期の助産診断を述べ、助産ケアを推論することができる
8	〃	分娩第2期の助産診断ケア	分娩第2期のアセスメント、助産診断の特徴を関係づける
9	〃	分娩第3、4期の助産診断ケア	分娩第3、4期のアセスメント、助産診断を記述し、助産ケアを推論することができる
10	〃	分娩介助の意義と原理	正常分娩介助法について原理原則を説明できる
11-12	〃	産婦と家族の支援	産婦とその家族の心理とケアについて述べる
13	〃	異常産婦のケア(1)	事例1において異常産婦のアセスメント・助産ケアを関係づけることができる
14	〃	異常産婦のケア(2)	事例2において異常産婦のアセスメント・助産ケアを関係づけることができる
15	〃	異常産婦のケア(3)	事例3において異常産婦のアセスメント・助産ケアを関係づけることができる

使用テキスト :助産学講座7(医学書院) 最新産科学正常編(文光堂)、最新産科学異常編(文光堂) 今日の助産(南江堂) 助産師のためのフィジカルイグザミネーション(医学書院) 産婦人科診療ガイドライン産科編2017(日本産婦人科医学会) 助産業務ガイドライン2014(日本助産師会)

参考図書:胎児心拍数モニタリング講座(MCメデイカ出版) 分娩のしくみと介助法(メジカルビュー社)分娩介助学(医学書院) 写真でわかる助産技術(インターメデイカ)

評価基準 : 筆記試験100%

科目名:助産診断・技術学 演習	演習	担当:H(助産師歴20年) I(助産師歴25年) T (助産師歴36年)	2単位
			60時間

一般目標

- ・妊娠・産褥期の診断に必要な検査、処置及びケアについて基礎知識・技術を習得する。
- ・妊産褥婦との信頼関係を築くためのコミュニケーション技術を修得する。
- ・安全に分娩介助を実施するための基礎知識及び技術を修得する。

回	担当	項目	行動目標
1-2	東尾教員	妊娠期のフィジカルアセスメント	妊婦健康診査に必要なアセスメントができる
3	〃	妊娠期のフィジカルアセスメント	妊婦健康診査と保健指導が実施できる
4-5	〃	妊娠期のフィジカルアセスメント	事例演習(OSCE)の実践
6-7	池田教員	分娩期の基本操作	分娩介助法の基本技術が実施できる
8-16	〃	分娩期の助産技術 I	分娩介助法の実践ができる
17	高岡教員	母乳育児支援 I	ポジショニングとラッチングの指導方法について述べる
18	〃	母乳育児支援 II	授乳指導が実践できる
19	高取教員	産後の体操	産後の健康回復への支援について運動を取り入れた保健指導が実践できる
20-21	T先生	母乳育児支援の実際	産褥期、育児期に応じた乳房ケアの支援について述べる
22-23	高岡教員	産褥期の助産診断	事例演習(OSCE)により、アセスメント及び保健指導が実践できる
24-25	東尾教員	分娩期の助産技術 II	フリースタイル分娩について体位別に回旋を述べ、様々な分娩介助法が実施できる
26-30	〃	分娩期の助産技術	分娩期のアセスメント及び助産ケアが実践できる

使用テキスト

助産学講座6(医学書院) 助産学講座7(医学書院))

参考図書

分娩介助学(医学書院) 助産師必携会陰保護技術(MCメデイカ出版)
体位別フリースタイル分娩介助法(メデイカ出版)写真でわかる助産技術(インターメデイカ)

評価基準 ; 技術テスト 100%

科目名:新生児・乳幼児の 助産診断・技術学演習	演習	担当:A(助産師歴12年) I(看護師歴5年) S(看護師歴19年) M(大学助教として8年) T(助産師歴8年)	1単位
			45時間

一般目標

- ・新生児・乳幼児期の経過を診断するための基礎知識を修得する。
- ・新生児・乳幼児期のアセスメント及びケアを理解し、対象に応じた援助が実施できるための技術を習得する。
- ・ハイリスク新生児・乳幼児のアセスメント及びケアを理解し、対象に応じた援助が実施できるための技術を習得する。

回	担当	項目	行動目標
1	A先生	新生児のケア	新生児ケアの基本を述べる
2	〃	新生児期の助産診断ケア(1)	新生児の適応生理(呼吸・免疫・その他)について不明な点を調べて記述する。
3	I先生	新生児期の助産診断ケア(2)	新生児の適応生理(循環・肝臓)について不明な点を調べて記述する。
4	〃	新生児期の助産診断ケア(3)	新生児の適応生理(循環・肝臓)について母親に簡潔に説明できる。
5	A先生	新生児期の助産診断ケア(4)	新生児の適応生理(呼吸・免疫・その他)について母親に簡潔に説明できる。
6	A先生	新生児期の助産診断ケア(5)	フィジカルアセスメント(呼吸・免疫・その他)が実践できる
7	I先生	新生児期の助産診断ケア(6)	フィジカルアセスメント(循環・肝臓)が実践できる
8	I先生	保健指導の実際	退院指導・沐浴指導について記述することができる。
9	A先生	新生児の助産過程(1)	出生直後及び出生後24時間以内のケアについて述べることができる。
10	A先生	新生児の助産過程(2)	出生後1週間から1か月のケアについて述べることができる。
11	A先生	新生児の助産過程(3)	新生児側からの母乳育児支援について述べることができる。
12	I先生	新生児の助産診断ケア(7)	沐浴・退院指導案を作成することができる。
13	I先生	新生児の助産診断ケア(8)	沐浴・退院指導のデモストをすることができる。
14-15	S先生	ハイリスク新生児のケア 胎児死亡・新生児死亡を経験	NICUにおける新生児ケアおよび親・家族のケアについて知る
16	高岡教員	乳幼児への援助(1)	乳幼児の健康診査の目的と意義について説明できる
17	〃	乳幼児への援助(2)	乳幼児健康診査の実際について説明できる
18	〃	予防接種法	予防接種法の基本的な計画の概要が説明できる

回	担当	項目	行動目標
19	高岡教員	予防接種と感染症	定期予防接種について説明できる
20	〃	乳幼児への援助(3)	新生児訪問の実際について説明できる
21-22	〃	乳幼児への援助(4)	演習 事例に沿って新生児訪問を実施する
23	M先生	口唇・口蓋裂の治療とケア	口唇・口蓋裂について助産ケアを考察する
使用テキスト 助産学講座8(医学書院) 助産学講座9(医学書院) 臨床助産師必携(医学書院)			
参考図書	新生児入門(医学書院) 母子保健マニュアル(南山堂) 乳幼児健診マニュアル(医学書院)		
評価基準 ; 筆記試験100%			

科目名:産褥期の助産診断・技術学	講義	担当:T(助産師歴8年)	1単位
			15時間

一般目標

- ・産褥期の助産過程を展開する基礎的な知識を修得する。
- ・産褥期のアセスメント及びケア、異常の早期発見について理解する。
- ・退院後の地域生活を見据えた健康教育を実施するための知識を修得する。

回	担当	項目	行動目標
1	高岡教員	産褥期の助産診断	産褥期の助産診断の特徴と診断類型を述べる
2	〃	産褥期のフィジカルアセスメント	退行性変化の促進とセルフケア指導について述べる
3	〃	産褥期のメンタルケアアセスメント	産褥期の心理・社会的変化とアセスメントについて述べる。メンタルケアの基本とワークを実施する
4	〃	褥婦への支援と保健指導	育児行動取得への支援・親役割獲得の支援 地域生活へ向けた支援を推論する
5	〃	産褥期のフィジカルアセスメント	母乳分泌のメカニズム 産褥期の乳房管理とケアについて述べる
6	〃	産褥期のフィジカルアセスメント	ハイリスク褥婦への支援を推論する
7-8	〃	産褥期の健康診査	産褥期の健康診査が実施できる

使用テキスト 助産学講座7(医学書院) 臨床助産師必携(医学書院)
助産師のためのフィジカルイグザミネーション(医学書院)
母乳育児支援スタンダード(医学書院)

参考図書 助産師基礎教育テキスト第6 巻7巻(日本看護協会)

評価基準 ; 筆記試験100%

科目名:母子保健教育学・演習	演習	担当:I(助産師歴10年)	1単位
			30時間

一般目標

- ・女性の各ライフサイクルにおける保健教育を行うための基礎知識を修得する。
- ・保健指導を実施するための知識・技術・態度を身につける。
- ・看護学生を対象とした性教育を企画・準備・実施・評価出来る。
- ・家族計画指導の方法を修得する。

回	担当	項目	行動目標
1	I先生	援助技術とは	助産活動を支える援助の基本を述べる
2	〃	相談・教育活動の技術	健康教育・教育技術・相談技術を述べる
3	〃	保健指導の理論 保健指導の方法	個人・集団へのアプローチについて述べる
4-5	〃	保健指導の実際	周産期の保健指導案を作成することができる
6-7	〃	〃	〃
8-9	〃	〃	保健指導媒体作成を実施する
10-11	〃	〃	保健指導案に沿ってロール・プレイングを実施する
12	〃	家族計画	家族計画の歴史と目的・受胎調節カウンセリングについて説明できる
13	〃	受胎調節指導の実際	受胎調節指導のロールプレイングを実施する
14	〃	性教育	助産師が行う性教育について知り、対象の理解と共に青年期への性教育の企画案を作成する
15	〃	性教育の実際	性教育企画を実施する

使用テキスト

助産学講座5(医学書院) 家族計画指導の実際(医学書院)

参考図書

ナーシング・グラフィカ③ 母性看護学 母性看護技術(メディカ出版)

評価基準 ; 筆記試験 80%、レポート 20%

科目名:助産診断過程演習	演習	担当:H(助産師歴20年) I(助産師歴25年) T (看護師歴8年)	1単位
			45時間

一般目標

- ・助産診断過程の展開に必要な基礎的知識を修得する。
- ・妊娠、分娩、産褥・新生児期の事例について助産診断過程を展開できる。

回	担当	項目	行動目標
1	東尾教員	助産診断過程の概要	助産診断の目的と意義、助産診断の過程を述べる
2	〃	妊娠期の助産診断過程の特徴	妊娠期の助産診断のポイントおよび助産診断類型について述べる
3-4	〃	妊娠期の助産診断過程(1)	妊娠期の事例(1)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
5-6	〃	妊娠期の助産診断過程(2)	妊娠期の事例(2)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
7-8	〃	妊娠期の助産診断	妊娠期の助産診断過程の展開を討議する
9-10	池田教員	分娩期の助産診断過程の特徴	分娩期の助産診断のポイントおよび助産診断類型について述べる
11-12	〃	分娩期の助産診断過程(1)	分娩期の事例(1)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
13-14	〃	分娩期の助産診断過程(2)	分娩期の事例(2)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
15-16	〃	分娩期の助産診断	分娩期の助産診断過程の展開を討議する
17	高岡教員	産褥期の助産診断過程の特徴	産褥期の助産診断のポイントおよび助産診断類型について述べる
18	〃	産褥期・新生児期の助産診断過程(1)	産褥期の事例(1)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
19-20	〃	産褥期・新生児期の助産診断過程(2)	産褥期の事例(2)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
21-22	〃	産褥期・新生児期の助産診断過程(3)	産褥後期の事例(3)により、アセスメント及び診断・計画立案を記述し、助産診断過程を予測する
23	〃	産褥期の助産診断まとめ	産褥期の助産診断過程の展開を討議する

使用テキスト

助産学講座6(医学書院) 助産学講座7(医学書院)

参考図書: 最新産科学正常編(文光堂)、最新産科学異常編(文光堂) 今日の助産(南江堂) 胎児心拍数モニタリング講座(MCメデिका出版) マタニティー診断第4版(医学書院)

評価基準 ; レポート90%、筆記試験10%

科目名:地域母子保健・国際母子保健	講義	担当:M(大学講師として3年) A(助産師歴20年) T(助産師歴7年)	1単位
			30時間

一般目標

- ・わが国の母子保健について動向を学び、地域母子保健活動の課題を認識する。
- ・国際化における母子保健の現状を理解し助産師の役割を認識する。
- ・社会資源、保険サービスのあり方を理解する。

回	担当	項目	行動目標
1	M先生	地域母子保健の概念と意義	わが国の母子保健の現状と動向を述べる
2-3	〃	地域母子保健行政の体系	母子保健関係法規、国・都道府県・市町村の役割を述べる
4	〃	地域子育て支援の意義と役割	地域活動の実際 行政による子育て支援を述べる
5-6	〃	地域母子保健の実際	グループワークを行い、地域の実状を調べる
7-8	〃	市町村における母子保健活動	母子保健事業の実際を述べる
9	〃	国際化時代の母子保健	国際母子保健の現状を知る
10	〃	外国人母子に対する助産ケア	在日外貨個人、海外在住日本人の母子保健について知る
11-12	〃	地域母子保健の実際	様々な母子保健施設の役割及び特徴を説明する
13	高取教員	地域母子保健の実際	思春期教育について対象に応じた指導の実際を知る
14-15	A先生	国際母子保健の現状	国際的な視野で母子保健について考えることができる

使用テキスト

助産学講座1(医学書院) 助産学講座9(医学書院) わが国の母子保健

参考図書

国民衛生の動向 母子保健マニュアル(南山堂)

評価基準 ; 筆記試験80%、レポート20%

科目名:助産管理	講義	担当:T(助産師歴7年) M(助産師歴25年) T(助産師歴36年) K(助産師歴50年)	1単位
			30時間

一般目標

- ・助産経営、管理の基礎的な知識を修得する。
- ・助産管理者としての役割、法的責任を理解する。
- ・周産期医療システムを学び、母子のための安全管理について理解する。
- ・母子の災害対策について理解し、災害時助産ケアに関する知識及び技術を修得する。

回	担当	項目	行動目標
1	高取教員	助産管理の定義	助産管理の基本について説明できる
2	高取教員	助産と医療経済	医療保険制度 助産業務の診療報酬について説明できる
3	高取教員	周産期管理システム	周産期医療のシステム化と連携について説明できる
4	M先生	助産所(出張助産所を含む)サービス管理の実際①	助産所における助産サービス管理について説明できる
5	M先生	助産所(出張助産所を含む)サービス管理の実際②	助産所の経営とスタッフ管理について説明できる
6	T先生	地域における助産サービス管理の実際①	施設退院後の母子へのサービス管理、関連機関との連携について説明できる
7	T先生	地域における助産サービス管理の実際②	地域で生活する対象への支援について考察する
8	高取教員	周産期の医療事故とリスクマネジメント	周産期医療事故の原因 法的責務 助産業務におけるリスクマネジメントについて関係づける
9	高取教員	災害時の母子ケアの実際①	緊急時における助産師対応マニュアル 災害リスクマネジメントについて説明できる
10	高取教員	災害時の母子ケアの実際①	災害時の助産診断ケアについて予測する
11	高取教員	緊急時の母子ケアの実際②	緊急時の助産診断ケアについて予測する
12-13	K先生	病院における助産サービス管理の実際	病棟・外来における助産管理 緊急時の助産管理と対応について説明できる
14-15	高取教員	災害時の母子ケアの実際③	(GW)災害・緊急時のケアについて考察する

使用テキスト 助産学講座10(医学書院)

参考図書 助産師基礎教育テキスト第3巻(日本看護協会出版会)、看護法令要覧(日本看護協会出版会) 助産業務ガイドライン(日本助産師会)

評価基準 ; 筆記試験80% レポート20%